美郷の魅力をPR

美郷町ふるさと大使

美郷町ふるさと大使

町の観光資源や物産などを広く情報発信するため、町とゆかりのある６名の方々に「美郷町ふるさと大使」を委嘱しています。大使の皆さんには、友好都市大田区で開催されるイベントの誘客や、清水・ラベンダーなどの写真が印刷された特製名刺の配布などの観光宣伝活動にご協力いただいています。

このたび、ふるさと大使の皆さんから、その活動の様子やふるさとへの思いを記したメッセージをいただくことになりました。今月号から６カ月連載でご紹介します。

ふるさと大使として

鈴木　鷹雄

経済や産業構造の激変によって地方はますます過疎化が進み、その地域に合った暮らし方、地域のあり方があらためて問われている昨今、全国各地で「ふるさと大使」制度を創設する動きが加速しているようです。美郷町でも合併後の平成18年に「美郷町ふるさと大使」制度が発足いたしました。元々は「六郷町ふるさと観光大使」でしたが、合併に伴って対象が広域になったため、資源、人材が大幅に増えて活動範囲も広まり、寺田明司氏（六郷出身）、三浦喜代治氏（仙南出身）、私（千畑出身）の３名が町より「美郷町ふるさと大使」を委嘱されました。

「ふるさと大使」制度は今や全国で見られるようになり、北は北海道、南は九州沖縄までの大使が一致団結して「全国ふるさと大使連絡会議」が発足するまでになっています。特にここ数年は、全国各地の市町村でも「ふるさと大使」制度を創設する動きがさらに加速しているように思えます。それも、地方分権が進展するとともに自立を迫られ、ふるさとをアピールする必要性が高まってきたことが要因かもしれません。各市町村においても緊縮財政の中にありながらも知恵を絞り、それぞれがふるさとの良さを地道にですが、長期戦の心構えを持ってさまざまなアピールをしようと意気込んでおります。

過日においても、「全国ふるさと大使連絡会議」全国大会では、幸いにもスピーチの時間があり、各テーブルに美酒「美郷」と「ニテコサイダー」を置かせていただきました。会員の皆さまに試飲していただきながら、町の物産・観光の宣伝スピーチをすることが出来ました。試飲の結果は「ニテコサイダー」は昔ながらの味でおいしく、「美郷」の方は女性向きで、すっきりとして飲みやすいとの感想もあり、大変好評でした。

現在は都市一極集中によって地方社会は人口の流出による過疎化、高齢化、後継者不足などによって経済が停滞し、都市との格差が大きな問題となっています。

「全国ふるさと大使連絡会議」では、このような現状に憂慮するだけではなく、何か地方の活性化のためのお手伝いが出来ないか、という視点に立って「ふるさと」のために何をするか、具体的な活動によって、過疎化した地方の援護射撃が出来るよう会員同士、意見交換や情報交換を行ったり、効果的な役割を果たせるよう試行錯誤しながら活動しています。

私たち、首都圏で暮らしている者にとっては幾つになってもふるさとは懐かしいかぎりです。最近は年を重ねるごとにますます故郷の思いは募ります。自然豊かな四季折々の景色と山と水。それに、「おっ、えぐ来たな」の同級生の一言が私達、ふるさとを離れた者にとっては一番の癒しです。

非力ながらもふるさとのために、もう少し頑張ってみようかなと思う今日この頃です。

鈴木　鷹雄（たかお）さん

■美郷町千畑地区（安城寺）出身
■埼玉県入間市在住　71歳
■美郷町ふるさと大使、美郷町千畑ふるさと会会長、首都圏秋田県人会連合会理事、首都圏秋田県人会経理部次長、全国ふるさと大使連絡会議会員
■趣味は骨董品収集。昨年「開運なんでも鑑定団」に出演したところ、放送終了後同級生や親類などから多数の電話をいただいたほか、秋田県新春交歓会や全国ふるさと大使新年交流会などで話題になりました。

平成23年度全国高等学校総合体育大会

2011 熱戦再来 北東北総体

開催まであと **4カ月**

初のブロック開催

高校生アスリートの祭典、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）「2011 熱戦再来 北東北総体」が、秋田、青森、岩手の３県を会場に７月28日から開幕します。８月20日の閉会式まで、29競技33種目が行われます。秋田県での開催は1984年以来27年ぶりです。

インターハイは1963年の新潟大会からスタートしました。昨年の沖縄総体までは、原則として都道府県単位で行われてきましたが、開催地の負担が大きいことなどから、今回の大会からブロック開催となりました。

美郷町で熱戦再び

美郷町では自転車競技（トラックレース）が、８月９日～11日の間、美郷町自転車競技場を会場に行われます。自転車競技といえば、平成19年の秋田わか杉国体が記憶に新しいのではないでしょうか。トラックレースのスピードとスリル感、そして選手の激闘が、秋田県で唯一の自転車競技場を有する美郷町で再び繰り広げられます。

トラックレースの見どころ

自転車競技は、戦うフィールドによってまったく違った魅力を秘めるスポーツです。大きく分けると、トラック競技場で行われるトラックレースと一般道を走るロードレースなどに分けられます。さらにこれがいくつかの種目に分かれています。今月は美郷町で行われるトラックレースの一部種目についてご紹介します。

自転車競技の日程

【開会式】
日にち●８月８日(月)
場　所●美郷総合体育館リリオス
【競技(トラックレース)】
日にち●８月９日(火)～11日(木)
場　所●美郷町自転車競技場
【競技(ロードレース)】
日にち●８月12日(金)
場　所●仙北市田沢湖周回特設ロードコース

タイムトライアル
ひたすらタイムを求めて走り抜けるスピード競技。１kmタイムトライアルの場合、走行時間はおよそ61秒～63秒で、時速にすると58km前後です。

スプリント
２～４名の選手が同時にスタートし、先着を争うレース。相手より前に出ると、風除けに利用されてしまうなど作戦上の不利があるため、ゴール前の200m付近までは互いにけん制し合います。ゴール手前の爆発的な瞬発力と、それまでの駆け引きがこのレースの見どころです。

チームスプリント
１チーム３名で編成され、３周のタイムトライアルで競われるレース。それぞれの選手が１周回ずつ先頭を引いた後にチームから離れ、最後の１人がゴールしたときのタイムで勝敗が決まります。それぞれの選手の役割が決まっているため、チームワークが何よりも大切な種目です。

ケイリン
日本で生まれ発展してきた競技「ケイリン」。先頭を走る選手の風圧によるハンディを解消するため、ペースメーカーが先頭を走り、ゴールまで残り600m付近で走路を離れます。ペースメーカーが退避するまでの間は、ベストポジションをキープするために激しい駆け引きが行われ、退避後は一気にスピードアップ。時速70kmという速さで一気に駆け抜けます。